

注 意 事 項

1. 会場使用上の注意

- (1) 飲食は、メインアリーナ・サブアリーナ内では行わないこと。
*選手控室および会場所定の飲食可能エリアのみとする。
- (2) 施設内の土足厳禁エリアでは、体育館シューズに履き替えること。
- (3) 会場内はフラッシュを使用した撮影は禁止する。
- (4) 会場内で発生したゴミは、各自責任を持って持ち帰り処分すること。

2. アリーナ使用時間・スケジュール

■ 9月26日（金）

- 11:30 受付開始、対戦スケジュール掲示
- 12:00～15:00 公式練習
- 15:30 開会式
- 16:30～20:40 競技1日目

■ 9月27日（土）

- 08:30 開場、ウォーミングアップ開始
- 10:00～19:10 競技2日目

■ 9月28日（日）

- 08:30 開場、ウォーミングアップ開始
- 09:30～15:20 競技3日目
- 15:45 閉会式

- (1) 27日（土）、28日（日）の開場後のウォーミングアップは、第一試合の選手のみ競技コートの使用を許可する。ただし、メインアリーナでの練習時間は9:20までとし、コール受付の時間の管理については、選手各自で行うこと。
- (2) 26日（金）の公式練習後および26日（金）、27日（土）、28日（日）の競技終了後は、手際よく後片付けをすませ、速やかにメインアリーナから退場すること。

3. 弁当について

- (1) 申し込み後の弁当のキャンセルは不可とする。
- (2) 事前に申し込まれた弁当は、11:00より総合受付で配布する。
- (3) 弁当ガラの回収を行う。15:00までに大会受付まで持参すること。

4. 荷物の送付について

- (1) 自宅までの送付を希望する場合は送付票を貼付して大会受付まで持ってくること。
- (2) 宅配便の伝票（着払いのみ）は大会受付にあるので、必要な場合は申し出ること。
- (3) 宅配業者は、クロネコヤマトのみ。他業者を希望する場合は、各自で対応すること。
- (4) 宅配便の基準（縦・横・高さの合計が160cm、重さが25Kg）を超えるものの送付の場合や、送付荷物に保険加入を希望する場合は、各自で対応すること。（現金は預かりません）

5. 駐車場について

- (1) 大会専用駐車場の用意は無いため留意すること。
- (2) 会場駐車場は駐車台数に限りがあるため、公共交通機関の利用を推奨する。
- (3) 会場駐車場を利用する場合は、入出庫時間および安全に注意し、譲り合って使用すること。

6. 大会参加者の注意事項

- (1) 主催者において傷害保険には加入しているが、各自事故、ケガの無いように努めること。
- (2) 貴重品は各自で保管すること。
- (3) 練習コートの使用は、原則として次に試合のある選手の利用とする。
- (4) 競技に必要な器具・用具は、試合以外は選手控室で保管すること。
- (5) **26日(金) 11:30～選手受付を行う。**
- (6) フィジオルーム（コンディショニングルーム）は、サブアリーナに設置される。
- (7) **フィジオルーム受付時間**
 - 26日(金)：開会式終了後～最終試合コールルーム開場まで**
 - 27日(土)：8:30～最終試合コールルーム開場まで**
 - 28日(日)：8:30～最終試合コールルーム開場まで**

7. 試合映像の撮影について

- (1) 試合映像の撮影および三脚等を使用したカメラ・スマートフォン等の設置については、コーチ席からの撮影およびコーチ席への設置のみ可とする。
- (2) カメラの設置については各選手の当該試合の間のみ可能とし、カメラ・スマートフォン等の機材を試合時間外に設置し続けることはできない。
- (3) 1F コートサイド・2F スタンド席からの撮影および2F スタンド席への三脚等を使用したカメラ・スマートフォン等の設置は禁止とする。

大会申し合わせ事項

1. 競技規則について

この大会は「日本ボッチャ協会競技規則 2025-2028 v.1.0」並びに、大会申し合わせ事項によって実施する。競技規則に記載のない問題が発生した際には、競技規則に記載のない問題が発生した際には、規則2ページの記述に基づき、審判長および大会技術委員長が協議し、最終決定を下す。

2. 器具検査について

- (1) 器具検査は時間を決めて行うことはせず、公式練習を含む大会期間中、審判、副審判長、審判長が必要と判断した場合適宜行う。
- (2) 器具検査の対象は、車椅子、コミュニケーション機器などとする。
- (3) 器具の承認ステッカーは貼付しない。

3. 試合前のボール検査（プレマッチ ボールチェック）について

- (1) ボール検査はコールルームにおいて、審判、副審判長、審判長が必要と判断した場合、副審判長および審判長が抽出した順に行う。
- (2) ボール検査では、ロールテスト、周長テスト、重量テストおよび目視検査を行う。
- (3) ボール検査でジャックボールが不適格となった場合のみ、大会球のジャックボールを貸し出す。

4. 招集について

- (1) コールルームは競技開始35分前に開場し、20分前に閉鎖する。選手はコールルームが開場しているうちに受付を完了すること。
- (2) コールルームには、**選手本人およびアクレカード（名札）を受け取った1名のコーチ以外は入ることができない。**
- (3) 大会球の使用を希望する場合は、コールルームにて審判に申告すること。

5. アクレカードおよび、ナンバーカードについて

- (1) 受付でアクレカードを受け取った後は、会場への入場の際および会場内の移動の際に必ず身に着けること。
- (2) 競技エリア、控室には、アクレカードを所持している選手、関係者以外は入室できない。
- (3) ナンバーカードは大会受付時に2枚渡される。ナンバーカードは、選手は「前面から見えやすい位置に」**1枚**を取り付ける（1枚は予備）。
- (4) コールルームに入る場面や審判に確認を求められた時には提示すること。ナンバーカードやアクレカードがない選手は、コールルームや練習コートで受付ができないので注意すること。

6. 競技進行について

競技時間は、公表した競技進行によって原則運営されるが、試合の延長などにより遅延することもある。その場合は掲示板に時間の変更を連絡するので、選手および関係者はよく確認すること。遅延の連絡は大会受付・コールルーム受付・練習コート受付に貼り出す。なお、通告のあった内容の未確認によって発生した不手際は、すべて選手の責任となり、いかなる抗議も主催者は受け付けない。

7. 競技方法

- (1) すべて男女別の個人戦で、「日本ボッチャ協会競技規則 2025-2028 v.1.0」が提示する障害区分オープン座位、オープン立位の男女別4クラスにて実施する。
- (2) 各クラスとも予選リーグ戦を行い、上位者による決勝トーナメントを実施する。
- (3) 予選リーグの順位は、World Boccia Competition and Ranking manual 2025-2028 に則り、①勝ち数、②直接対決、③得失点差、④総得点、⑤総勝ちエンド数で判断する。
- (4) アウトオブザウェイは、ボックスの外にまで出ることとは求めない。
- (5) 残り時間のコールおよび、エンド間の時間計測については公用語（英語）で行われる。

8. 表彰について

各クラス、上位1～3位までの表彰を行う。

9. クラス分けについて

- (1) 大会期間中、クラス分け員が観察による選手の評価を行う。
- (2) (1) により個別評価が必要と判断した場合のみ、当該選手への声かけを行うので、その際はクラス分け委員会からの指示に従うこと。
- (3) クラス分け委員会から特に指示のなかった選手には個別評価は実施しない。

10. 「BOCCIA JAPAN CUP 2026」への出場資格について

- (1) 男女立位座位、各クラス優勝者計4名は、「BOCCIA JAPAN CUP 2026」（2026年3月7日・8日開催予定）への出場権利を得る。
- (2) 「BOCCIA JAPAN CUP 2026」は、「一般社団法人日本ボッチャ協会_競技規則_フレンドリーマッチ版_v.1.0.」
([一般社団法人日本ボッチャ協会_競技規則_フレンドリーマッチ版_v.1.0.docx.pdf\(保護\)\(microcms-assets.io\)](#))
で行う団体戦の大会となるため、出場については、出場が決まった4選手でチームを組み出場する。
- (3) 出場にかかる旅費は、自己負担となる。
- (4) 「BOCCIA JAPAN CUP 2026」への出場辞退者が出た場合は、各クラス2位の選手を繰り上げる。出場を辞退する選手は、大会終了後、1週間以内に協会アドレスへ辞退の連絡をすること。

11. メディア取材

- (1) 大会期間中、メディアより取材希望があった選手は、広報より連絡が入る。
対象選手の取材対応については、無理のない範囲で対応すること。
- (2) 取材対応エリアは、ミックスゾーンのみとなる。

1 2. 写真等の使用と動画配信について

- (1) 競技結果や大会で撮影する写真・映像等は、当協会ホームページ、SNS 等に掲載する場合および、障がい者スポーツに関する広報用として使用する場合があります。
また大会当日、報道機関が取材を行い、写真、映像がテレビ・新聞等で報道されることがあるので、承知の上参加すること。なお、撮影に際しては、競技の妨げとならないよう留意する。
- (2) SNS 動画配信サービスを行うため、映像として配信されることを承知の上参加すること。